

# 令和5年度公益財団法人ふくしま海洋科学館事業報告書

## 【事業総括】

令和5年度は、新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが季節性インフルエンザなどと同じ5類へ移行したことによる旅行需要の増加などにより、大きく入館者数を伸ばすことができました。

アクアマリンふくしまの入館者数は、全国的なメディアを含むマスコミへの露出の増加や令和4年度末に行った子ども体験館「アクアマリンえっぐ」のリニューアルオープン、企画展「絵本すいぞくかん」や「飼育員すばる君のひみつ道具」など各種企画が好評を博し、昨年度(584,568人)比で104.5%となり、震災後初めて60万人を超える611,040人となりました。

いなわしろカワセミ水族館の入館者数は、猪苗代町の補助を受けて行った企画展「じゅえき太郎現る！ゆるかわ昆虫の森」をはじめとする4つの企画展や体験プログラム、TVCMの実施などにより開館後最多となった昨年度(79,743人)比では96.2%になったものの、開館後2番目に多い入場者数77,132人となりました。

両館とも、当財団の運営目標である「子どもたちの未来を開く水族館」、「唯一無二の水族館」、「地域と共に歩む水族館」に沿って、職員一人一人がこれまでに培ったノウハウを生かしつつ、従来のやり方にとらわれない柔軟な発想を持ち、創意工夫をしながら各種事業に取り組みました。その主な内容は下記のとおりです。

## 記

### 〈アクアマリンふくしま〉

- 1 6月1日、当館初となる「ズキンクラゲ」の展示を開始。
- 2 7月15日、飼育員が普段使っている道具に触ってみたり、飼育体験に参加するなど、楽しみながら生き物の命を守る飼育員の仕事が学べる企画展「飼育員すばる君のひみつ道具」を開催。  
(当初:～令和6年2月29日 延長:～令和6年9月1日)
- 3 7月15日、浜通り地域の交流の拡大のため、東日本大震災・原子力災害伝承館(双葉町)とのチケット提示による相互割引開始。
- 4 7月16日、累計入館者数1,600万人達成記念セレモニーの開催。
- 5 7月23日、「オオメンダコ」の展示を開始。展示日数は153日間となり国内最長記録。
- 6 福島県内水産業及び県内水産物応援イベント等の実施
  - ・10月28日から館内レストランにて、小名浜港で水揚げされた「さんまの塩焼き定食(請戸漁港名産の干白魚、松川浦産あおさ汁のセット)」の提供開始。

- ・ 2月23日に、アンコウの魅力を知り、福島県の海の豊かさを学ぶ「冬のアンコウ祭り」を開催。
  - ・ 3月9日に、福島県の美味しい地魚を使った「飼育員すばる君と福島県の魚を美味しく食べよう～親子でお魚さばき教室～」を開催。
- 7 2月1日、絶滅危惧種ニホンウナギの生態や保護活動などへの理解を高めるため、ニホンウナギの稚魚「シラスウナギ」の展示開始。
  - 8 3月5日、当館職員がいわき沖で採集したスナヒトデが新種のヒトデ「サザレスナヒトデ」と公表。スナヒトデ属の新種が日本から発見されるのは104年ぶり。
  - 9 3月7日、2022年より国立遺伝学研究所や北里大学等の外部研究機関とサンマについて共同研究を行い、サンマのゲノム情報に関する初の研究論文発表。
  - 10 3月16日、海岸を清掃してどんなごみが流れ着いているのかを調べながら、海のプラスチックごみの現状や、ごみが海の生き物に与える影響について学ぶ「海の生きものとプラスチックごみ」を開催。

#### 〈いなわしろカワセミ水族館〉

- 1 絶滅危惧種を守るために生息地以外で飼育、繁殖させる域外保全飼育を行っているオウサマゲンゴロウモドキ(ラトビア産)について、5月に3世代目の累代繁殖に成功し、7月8日から10匹の成虫を展示。
- 2 6月2日から環境省レッドリスト絶滅危惧ⅠB類、福島県レッドリスト絶滅危惧Ⅰ類、令和5年1月から特定第二種国内希少野生動植物種に指定された「コバンムシ」を展示。
- 3 7月25日から、2021年に郡山市で、国内で初めて確認され、樹木に被害をもたらしている外来種「サビイロクワカミキリ」と国際自然保護連合により世界の侵略的外来種ワースト100の一つに指定されており、同年白河市で県内初確認された「ツヤハダゴマダラカミキリ」を展示。
- 4 8月15日から、色素変異による珍しい青いニホンアマガエルと黄色いニホンアマガエルを展示。
- 5 2月10日、身近な昆虫の標本作りを通して、標本の価値と意義について学ぶ「昆虫標本を作ってみよう」を開催。

## 【事業内容】

### I 公益目的事業

#### 1 調査収集事業

##### 生物収集事業

展示生物(水生生物、陸上小動物及び植物)採集、購入、輸送

- ① 淡水生物採集  
県内淡水生物採集及び購入
- ② 沿岸生物採集  
福島県水産海洋研究センター調査船乗採集  
福島県松川浦採集・小名浜サンマリーナ アマモ、ギンポ類他を採集
- ③ 北方系生物採集  
オオメンダコ等の冷水系生物を採集、輸送
- ④ 南方系生物採集  
マイワシ、バショウカジキを採集  
キハダ・カツオを蓄養・輸送・搬入(奄美)
- ⑤ サンゴ礁、マングローブ生物収集
- ⑥ チョウチョウウオ類、チンアナゴ他熱帯性海水魚を採集、輸送
- ⑦ 県立医大よりニホンキジを搬入
- ⑧ 盛岡市動物園よりモモンガを搬入
- ⑨ 野生生物共生センターよりハヤブサを搬入
- ⑩ 大町山岳博物館へホンドタヌキを搬出
- ⑪ 大宮公園小動物園よりニホンリス搬入
- ⑫ 富山ファミリーパークよりカヤネズミ搬入
- ⑬ タブノキ、モミジ、スダジイ、アカガシ等を購入
- ⑭ 多摩動物公園へニホンキジ搬出

#### 2 展示企画事業

##### (1) 飼育生物管理事業

本館、えっぐ、水生生物保全センター、屋外施設の動植物展示及び飼育管理

##### (2) 展示事業

水槽展示及び生物の飼育状況

令和5年度末時点での展示は以下のとおり。

|                   |         |
|-------------------|---------|
| ① 水槽数             |         |
| 本館                | 1 1 3 槽 |
| B I O B I O かつぱの里 | 1 槽     |
| 蛇の目ビーチ            | 1 槽     |
| わくわく里山・縄文の里       | 2 槽     |
| アクアマリンえっぐ         | 3 槽     |
| 金魚館               | 8 槽     |
| 合計                | 1 2 8 槽 |

## ② 生物の飼育状況

|     |        |          |
|-----|--------|----------|
| 哺乳類 | 13種    | 56点      |
| 鳥類  | 9種     | 30点      |
| 爬虫類 | 5種     | 8点       |
| 両生類 | 6種     | 184点     |
| 魚類  | 414種   | 37,529点  |
| 昆虫  | 10種    | 62点      |
| 無脊椎 | 289種   | 20,083点  |
| 植物  | 500種   | 約20,000点 |
| 金魚  | 62品種   | 882点     |
| 合計  | 1,246種 | 77,952点  |
|     | 62品種   | 882点     |

## 3 研究開発事業

### (1) 水生生物保全センター(串本分館)管理事業

蛇の目ビーチと釣り堀に、イサキ、メジナ等の搬入を行った。

### (2) 研究開発交流事業

① ユーラシアカワウソやラブカ、バショウカジキ、冷水系生物、魚卵採集などの研究・新規展示開発 35 題を実施した。

② 「飼育員の研究レポート」で年3回の内容更新を行った。

#### ③ 学術論文

- ・「アクアマリンふくしま敷地内に造成された人工海浜（蛇の目ビーチ）の大型底生動物相」（日動水雑誌 掲載）
- ・「北海道羅臼沖で採集されたホソウオノシラミ」（水生動物 掲載）
- ・「日本初記録？新潟県佐渡海峡から得られたコトクラゲ」（日本生物地理学会会報 掲載）
- ・「北部太平洋から見つかったクサウオ科コンニャクウオ属の新種」（Ichthyological Research 掲載）
- ・「Description of a new Luidia species (Asteroidea: Luidiidae) from Japan with molecular phylogenetic analysis of the genus Luidia. Luidia 属 (Asteroidea: Paxillosida: Luidiidae) の新種記載と分子系統解析: Luidia の 種間系統と進化に関する新しい知見」（Journal of the Marine Biological Association of the United Kingdom 掲載）
- ・「Chromosomal DNA sequences of the Pacific saury genome: versatile resources for fishery science and comparative biology」（サンマゲノムの染色体規模の DNA 配列: 水産科学と比較生物学のための有用リソース）（DNA Research 掲載）

#### ④ 学会発表

- ・「ナメダngo（ダンゴウオ科）の個体発生と性的二型」ポスター発表（魚類学会）

- ・「福島県沖に出現するアオビクニンの成熟過程と成長にともなう発育形態」ポスター発表（魚類学会）
- ・「初めて観察されたアオメエソの卵巣と成熟」口頭発表（魚類学会）
- ・「北大西洋に生息するアオビクニンおよびサケビクニンにおける交雑状況の把握」ポスター発表（魚類学会）
- ・「初めて明らかとなった現生シーラカンス 2 種の明確な形態的相違、角鰓骨について」口頭発表（魚類学会）
- ・「北海道羅臼沖より得られたニシキギンポ科の 1 未記載属・種」ポスター発表（魚類学会）
- ・「北海道羅臼沖で採集されたホソウオノシラミ」口頭発表（甲殻類学会）
- ・「ダイオウキジンエビ保育に関する続報」ポスター発表（甲殻類学会）
- ・「バショウカジキとコバンザメの共生関係：専属掃除魚の隠れ家は鰓腔内」ポスター発表（日本動物行動学会）
- ・「WAZA における水族館」口頭発表（東京大学大気海洋研究所共同利用研究集会シンポジウム）
- ・「北海道知床羅臼町で確認された 17 種の未記載種や日本初記録種の展示と活用」口頭発表（東京大学大気海洋研究所共同利用研究集会シンポジウム）
- ・「生息環境を再現した展示施設におけるユーラシアカワウソの個体管理について」口頭発表（動物園技術者研究会）
- ・「東北沖を中心に確認されたサケビクニン複合種群における交雑」ポスター発表（水族館シンポジウム）
- ・「羅臼沖で漁獲されたエゾイバラガニ類の腹部に寄生していたフクロムシ類の種判別」口頭発表（日本 DNA 多型学会）

## 4 国際連携交流事業

### 国際連携交流事業

Oceanographic Valencia、Paris Aquarium 等の視察の受け入れを行った。  
IAC2024 のメキシコ開催について IAC Steering Committee メンバーとの打ち合わせを行った。

## 5 企画営業事業

### （１）イベント等開催事業

館内外における季節演出および催事等の実施

#### ① 春のわくわくイベント

〇蛇の目ビーチで宝さがし

4月29日（土）、30日（日）、5月の毎週日曜日 計6回

○端午の節句 いわき絵のぼり展示

4月29日（土・祝）～5月7日（日）

○ごんべえ登場

5月3日（水・祝）～6日（土）

② 企画展「絵本すいぞくかん～アクアマリンふくしま×スイミー～」

2022年7月15日（金）～2024年5月6日（月・振休）

※期間中関連企画随時実施「ロゴマークをさがそう」「水族館のガラスにスイミーの世界をつくろう」「絵本読み聞かせ会」

③ SOU☆四重奏ミニコンサート

6月3日（土）

④ アクアマリンの七夕まつり

7月1日（土）～8月8日（火）

⑤ 企画展「飼育員すばる君のひみつ道具」

7月15日（金）～2024年9月1日（日）まで

※期間中関連企画随時実施「写真撮影会なりきり飼育員」「飼育員なんでも相談会」「講演会：深海調査のひみつ大公開」

⑥ 金魚まつり&おたのしみ縁日

8月12日（木）～15日（日）※開館時間19時まで延長

⑦ NHK 交響楽団いわきアンバサダー・レジデントシリーズ 2023 梶川真歩さんと、小名浜の海を堪能する

9月18日（月・祝）

⑧ 小名浜国際環境芸術祭2023

小名浜国際環境芸術祭は、2003年に開催されてから20回目を迎えた。「HAPPY OCEANS」をテーマに様々な芸術作品を展示した。

○小名浜国際大漁旗アート展 特別展

期間：9月23日（土）～11月12日（日）

○第48回福島県児童・生徒木工工作コンクール作品展

主催：福島県木材青壮年協会、福島県木材協同組合連合会、福島民報社

期間：9月23日（土・祝）～10月1日（日）

○キッズアート展 「みんなの描いたお魚を大水槽で泳がそう!!」

期間：9月23日（土・祝）～11月5日（日）

○俳句の季(とき)コンテスト

期間：10月21日（土）～11月12日（日）

○海の男の盆栽展

協力：小名浜盆栽研究会

期間：11月1日（水）～11月5日（日）

○ボタニカルマルシェ

自然の素材や生き物にちなんだワークショップ

11月3日（金・祝）～5日（日）

○第51回我ら海の子展（巡回絵画展）

主催：一般財団法人サークルクラブ協会 公益社団法人日本海洋少年団連盟

期間：11月11日（土）～12月10日（日）

⑨ いわきフラっこ品評会&金魚ミニ即売会

10月21日（土）

⑩ アクアマリンクリスマス

クリスマスツリー展示、アクアマリンイルミネーション、プレゼント釣りマス、  
アクアマリンスノー、クリスマス鯉井販売

11月25日（土）～12月25日（月）

※開館時間延長 12月23日（土）、24日（日）19時まで

⑪ アクアマリンのお正月

みんなでつくろう！お正月水槽、パネル展「めでたい展」、もちもちあざらし  
タワー、ホタテを釣って食べてみよう！、ごんべえをさがせ！

12月30日（土）～1月8日（月・祝）

⑫ アクアマリンの節分

節分水槽展示、豆まきイベント

1月20日（土）～2月4日（日）

⑬ アクアマリンのひな祭り

ちりめん細工教室「ままや」製作のつるし飾り展示、ちりめん細工体験教室

2月10日（土）～3月3日（日）

⑭ 福島県水産物応援イベント「冬のアンコウ祭り」

アンコウの解説と吊るし切り実演、アンコウ鍋ふるまい

2月23日（金・祝）

⑮ スプリングフェスティバル

フラワーアクアリウム、春爛漫プレゼント、春爛漫コンサート、謎解きイベ  
ント

3月16日（土）～4月7日（日）

（2）広報宣伝事業

県内外に当館の魅力を一層アピールしながらイベント開催告知、誘客促進を  
行うとともに、首都圏も含め各種媒体で積極的な広報宣伝活動を展開し、パブリ  
シティによる紹介の増加を図った。

① 各種媒体等を活用した広報

ア テレビ

CM放送 ※コロナ5類移行後に実施

夏 向 け : 県内4局、宮城4局

年 末 : 県内2局

春 休 み 向 け : 県内4局、宮城3局

イ 新聞

地元3紙へGW、秋、クリスマス、正月、春等の観光シーズンに広告掲載。

ウ 雑誌・フリーペーパー等広告

企画展およびイベントの告知のため情報及び広告掲載、折込広告

エ 看 板

福島空港に広報看板掲出、辰巳町交差点に看板掲出

オ Web

SNSを活用した情報発信

SNS広告出稿：Instagram・X、4コマ漫画広告配信

カ その他

テレビ番組、Webメディアへの情報、素材提供

福島県広報枠を活用した広報（テレビ・ラジオ・新聞・雑誌、SNS、駅貼りポスター掲出）

春休みにいわき市、郡山市、福島市、日立市周辺へ新聞折り込みを実施

② ポスター・パンフレット等の作成・活用

ア 館内案内リーフレット

・館内案内リーフレットを来館者に配布

・県内外観光施設、旅行エージェント、公共施設等に配布

イ イベントチラシ・ポスター

・企画展「飼育員すばる君のひみつ道具」の開催、GW、夏、秋、クリスマス、正月、春のイベント開催に合わせ、チラシ、ポスターを作成、県内外の公共施設、観光施設等に配布、掲出

③ 広報イベントの実施

広報を目的としたイベントの実施

ア 入館者1600万人達成記念セレモニー

7月16日（日）に、累計入館者数1600万人目の来館者をお迎えした記念セレモニーを開催

イ 流行魚大賞2023

当館のSNSで話題になった生き物をノミネートし投票を実施。「オオメダコ」が大賞となった。結果発表は12月1日（金）に実施。

（3）観光誘致事業

① 地元旅館ホテル等の販売実績

ア 契約宿泊施設等宿泊者限定チケット（地域連携チケット）

・いわき市周辺の契約宿泊施設等限定の入館券を販売

・契約宿泊施設等・・・11か所（2組合、1グループ、8施設）

一 般 23,065枚（令和4年度対比 118.0% 3,522枚増）

小～高 6,733枚（令和4年度対比 124.5% 1,326枚増）

計 29,798枚（令和4年度対比 119.4% 4,848枚増）



イ 入館前売券販売

|     |         |            |        |         |
|-----|---------|------------|--------|---------|
| 一 般 | 6,991 枚 | (令和 4 年度対比 | 103.2% | 215 枚増) |
| 小～高 | 1,973 枚 | (令和 4 年度対比 | 110.5% | 187 枚増) |
| 計   | 8,964 枚 | (令和 4 年度対比 | 104.7% | 402 枚増) |

② 送客実績

ア 個人(通常料金)

|     |           |            |        |           |
|-----|-----------|------------|--------|-----------|
| 一 般 | 179,361 人 | (令和 4 年度対比 | 102.7% | 4,712 人増) |
| 小～高 | 43,064 人  | (令和 4 年度対比 | 105.1% | 2,071 人増) |
| 計   | 222,425 人 | (令和 4 年度対比 | 103.1% | 6,783 人増) |

イ 団体(団体料金)

|     |          |            |        |           |
|-----|----------|------------|--------|-----------|
| 件 数 | 620 件    | (令和 4 年度対比 | 285.7% | 403 件増)   |
| 一 般 | 11,521 人 | (令和 4 年度対比 | 246.1% | 6,839 人増) |
| 小～高 | 2,398 人  | (令和 4 年度対比 | 115.3% | 318 人増)   |
| 計   | 13,919 人 | (令和 4 年度対比 | 205.8% | 7,157 人増) |

ウ 契約宿泊施設等宿泊者限定チケット(地域連携チケット)

|     |          |            |        |           |
|-----|----------|------------|--------|-----------|
| 一 般 | 22,294 人 | (令和 4 年度対比 | 115.2% | 2,944 人増) |
| 小～高 | 6,598 人  | (令和 4 年度対比 | 121.7% | 1,176 人増) |
| 計   | 28,892 人 | (令和 4 年度対比 | 116.6% | 4,120 人増) |

エ 入館前売券

|     |          |            |        |            |
|-----|----------|------------|--------|------------|
| 一 般 | 62,548 人 | (令和 4 年度対比 | 447.8% | 48,580 人増) |
| 小～高 | 19,396 人 | (令和 4 年度対比 | 542.4% | 15,820 人増) |
| 計   | 81,944 人 | (令和 4 年度対比 | 467.1% | 64,400 人増) |

オ 年間パスポート

|     |          |            |       |           |
|-----|----------|------------|-------|-----------|
| 一 般 | 38,927 人 | (令和 4 年度対比 | 95.1% | 1,994 人減) |
| 小～高 | 8,527 人  | (令和 4 年度対比 | 97.0% | 261 人減)   |
| 計   | 47,454 人 | (令和 4 年度対比 | 95.5% | 2,255 人減) |

カ 年間パスポートの提示割引

・当館の年間パスポートの提示で割引

(1枚の提示で5名まで 一般 200 円引 小～高 100 円引)

|     |         |            |       |        |
|-----|---------|------------|-------|--------|
| 一 般 | 2,909 人 | (令和 4 年度対比 | 99.9% | 4 人減)  |
| 小～高 | 801 人   | (令和 4 年度対比 | 97.6% | 19 人減) |
| 計   | 3,710 人 | (令和 4 年度対比 | 99.4% | 23 人減) |

キ 障がい者

|     |          |            |        |           |
|-----|----------|------------|--------|-----------|
| 一 般 | 12,780 人 | (令和 4 年度対比 | 130.7% | 3,005 人増) |
| 小～高 | 2,597 人  | (令和 4 年度対比 | 127.4% | 558 人増)   |
| 計   | 15,375 人 | (令和 4 年度対比 | 130.1% | 3,561 人増) |

③ 減免入館実績

ア 学校団体

|     |          |            |       |           |
|-----|----------|------------|-------|-----------|
| 件 数 | 540 件    | (令和 4 年度対比 | 78.3% | 149 件減)   |
| 人 数 | 29,242 人 | (令和 4 年度対比 | 76.9% | 8,794 人減) |

イ 幼稚園又は保育園団体

|     |         |            |        |         |
|-----|---------|------------|--------|---------|
| 件 数 | 191 件   | (令和 4 年度対比 | 136.4% | 51 件増)  |
| 人 数 | 1,097 人 | (令和 4 年度対比 | 146.5% | 348 人増) |

※人数には、園児の数は含まない

ウ 市町村主催団体

件 数 19 件 (令和 4 年度対比 105.6% 1 件増)  
人 数 589 人 (令和 4 年度対比 155.8% 211 人増)

エ 財団主催団体

件 数 0 件 (令和 4 年度対比 0% 3 件減)  
人 数 0 人 (令和 4 年度対比 0% 12 人減)

④ コンビニチケット

一 般 19,070 人 (令和 4 年度対比 147.8% 6,170 人増)  
小～高 7,880 人 (令和 4 年度対比 163.8% 3,070 人増)  
計 26,950 人 (令和 4 年度対比 152.2% 9,240 人増)

ア 通常チケット(販売額 一 般 1,750 円 小～高 850 円 通年販売)

一 般 13,066 人 (令和 4 年度対比 146.2% 4,126 人増)  
小～高 6,004 人 (令和 4 年度対比 151.6% 2,044 人増)  
計 19,070 人 (令和 4 年度対比 147.8% 6,170 人増)

イ ラブカップルチケット

(一般 2 人分のペアチケット 3,500 円 期間限定販売)  
ペア券 3,940 枚 (令和 4 年度対比 163.8% 3,070 枚増)  
人 数 7,880 人 (令和 4 年度対比 191.2% 15,724 人増)

⑤ 助成券利用実績

・助成券全体の入館者数は 1,181 人  
(令和年度対比 114.0% 145 人増)

ア 福島県職員助成券

一 般 296 人 (令和 4 年度対比 100.3% 1 人増)  
小～高 37 人 (令和 4 年度対比 77.1% 11 人減)  
計 333 人 (令和 4 年度対比 97.1% 10 人減)

イ 福島県教職員助成券

一 般 376 人 (令和 4 年度対比 119.7% 62 人増)  
小～高 149 人 (令和 4 年度対比 124.2% 29 人増)  
計 525 人 (令和 4 年度対比 121.0% 91 人増)

ウ 私学職員助成券

一 般 218 人 (令和 4 年度対比 110.7% 21 人増)  
小～高 91 人 (令和 4 年度対比 154.2% 32 人増)  
計 309 人 (令和 4 年度対比 120.7% 53 人増)

エ 山形利用補助券

一 般 8 人 (令和 4 年度対比 266.7% 5 人増)  
小～高 6 人 (令和 4 年度対比 0.0% 6 人増) ※昨年度は 0 人  
計 14 人 (令和 4 年度対比 466.7% 11 人増)

⑥ 電子チケット

一 般 32,972 人 (令和 4 年度対比 191.2% 15,724 人増)  
小～高 10,921 人 (令和 4 年度対比 206.3% 5,628 人増)  
計 43,893 人 (令和 4 年度対比 194.7% 21,352 人増)

(4) 地域交流事業

積極的に周辺地域と交流を深め地域振興に貢献した。

① 小名浜まちづくり市民会議へ参画

会員として会議やイベントに積極的に参画

- ② 小名浜港まつりへの協賛  
協賛を行うとともに、館内外における花火大会の観覧に貢献した。
- ③ ばんえつ発見の旅サポート連携事業  
・磐越道沿線の11文化施設が参加し、6月10・11日に郡山市において合同イベントを開催した。
- ④ いわき ら・ら・ミュウ、小名浜美食ホテル、イオンモールとの連携  
・毎月1回、上記担当者との協議会を開催
- ⑤ 委託販売（いわき ら・ら・ミュウ）  
・入館前売券を、いわきら・ら・ミュウ内インフォメーションにて委託販売  
一 般 883 枚 （令和4年度対比 112.9% 101 枚増）  
小～高 170 枚 （令和4年度対比 127.8% 37 枚増）  
計 1,053 枚 （令和4年度対比 115.1% 138 枚増）
- ⑥ 近隣動物園・水族館との連携  
栃木・茨城・群馬・福島動物園・水族館との連携事業「ファイト10」  
として、年パス相互割引やホームページ制作、SNS イベントを実施
- ⑦ 公共施設との連携  
・いわきアリオス NHK 交響楽団によるミニコンサート 9月18日（月・祝）  
・いわき市石炭・化石館  
「くらべて知る化石と生きた化石」海・生命の進化の展示解説 6月18日（日）  
公開講座「化石と生きた化石のびっくり話」 9月30日（土）
- ⑧ その他連携事業  
ア イベント・展示  
・小名浜税関支署 税関展 5月27日（日）  
・一般社団法人ふくしま海と緑のプロジェクト 日本財団「海と日本 PROJECT in ふくしま」オリジナルイベント 7月15日（火）  
・一般社団法人ふくしま海と緑のプロジェクト 日本財団「海と日本 PROJECT in ふくしま」海の民話イベント 7月27日（木）  
・江名シングルアップP 風鈴展示 8月10日（木）～31日（木）  
・エコチル調査福島ユニットセンター郡山事務所 エコチルふくしま令和5年度全県イベント 8月21日（月）  
・いわき海の俳句全国大会実行委員会 第8回いわき海の俳句全国大会 8月27日（日）  
・ボタニカルマルシェ 11月1日（水）～11月5日（日） コミュタン福島、イオンモールいわき小名浜などの協力  
・3.11ふくしま追悼復興記念行事 キャンドルメッセージワークショップ 3月10日（日）  
・伝統工芸遠野和紙楮保存会 遠野和紙漉き体験 3月17日（日）  
・福島テレビ株式会社 魚ジャパンフェス展示協力 3月20日（水）～24日（日）

## 6 入館者管理事業

### 入館者サービスの向上事業

接客や案内誘導等の業務委託、年間パスポート販売等（来館者サービスの向上）

- ① 券売・受付業務委託  
券売・改札業務（専門業者委託で接客の質向上）
- ② 年間パスポート販売
  - ・入館者数の増加を目的に販売
  - ・通常販売、福島県子育て応援パスポート事業（協賛）の割引販売やプレゼント等の実施
  - ・販売実績

|     |         |          |       |         |
|-----|---------|----------|-------|---------|
| 一般  | 5,760 枚 | （令和4年度対比 | 94.6% | 330 枚減） |
| 小～高 | 1,539 枚 | （令和4年度対比 | 94.4% | 91 枚減）  |
| 計   | 7,299 枚 | （令和4年度対比 | 94.5% | 421 枚減） |
- ③ 開館時間の延長  
誘客促進と来館者の満足向上を図るため、大型連休の5月3日（水）～6日（土）、いわき花火大会開催時8月5日（土）、お盆休み期間8月12日（土）～15日（火）、及びクリスマス期間12月23日（土）～24日（日）、開館時間を延長し営業を実施

## 7 企画展開催事業

魅力ある展示を維持するため、展示品、種名板、情報ソフト等の更新を随時行い、図書や映像ソフト等の充実にも努めた。

- ① 放射線に対する基礎的な情報や館内の環境放射線量、海水中の放射性物質濃度などの情報を提供するとともに、当館が行っている調査研究について展示を行った。
- ② オセアニックギャラリーでは「いわき七浜捕鯨文化」「漁場から食卓まで」「あぶくま東縁の地質生物」「弁財天ウナギプロジェクト」「地球環境の保全活動」「海にあふれるプラスチックごみ」「採集する。研究する。展示する。」について展示した。

## 8 学習交流事業

### （1）解説事業

館内での解説活動を行ない、解説員による大水槽の生き物解説や有料のバックヤードツアー等、ボランティアによるバックヤードツアーの活動を行った。

### （2）学校教育関連事業

- ① ガイダンス・館内学習  
来館した学校団体を対象に、施設の展示概要を紹介するガイダンスを実施した。また、来館した学校団体を対象に研修室などで授業を行った。当館の釣り堀を利用した命の教育、獣医の仕事の紹介、震災からの復興などをテーマとした学習などを実施した。（120回実施、対象者数6,166名）
- ② 館外学習（ゲストティーチャー）  
当財団の職員を学校や施設へ派遣し、授業を行った。  
（9校、対象者345名）

③ 移動水族館の実施

移動水族館専用車（アクアラバン）による生物の観察と、標本や化石などを手に取って観察をするハンズオン展示、レクチャーを行う移動水族館を実施した。（14校、対象者数903名）

④ 職場体験・インターンシップ・博物館学芸員実習、社会教育実習、社会体験研修の実施

中学校、高等学校、大学の生徒・学生、教員を対象に、業務体験をとおして職業観・勤労観の習得や進路指導の一環を目的とした実習や社会体験研修を実施した。

ア 職場体験（1日間3回実施 対象者6名）

イ ジュニアインターンシップ（1日間1回 対象者1名）

ウ 大学生（社会人）の社会教育実習

（3日間3回実施 対象者数 11名）

エ 教員の社会体験研修（1日間5回実施 対象教員数19名）

オ 学芸員実習（10日間1回実施 対象学生数 4名）

⑤ 教員セミナー、教員研修の実施

8月に2日間、県内の教員を集め、新施設えつぐの森どうぶつごっこにおいて、森の環境保全についての講義を行う教職員セミナー開催し、32名が参加した。

（3）情報提供事業

① 情報コーナー

飼育職員の最新の研究成果を紹介する「飼育員の研究レポート」

② インターネットによる情報提供

ホームページを更新することにより、様々な情報提供を行った。最新生き物情報欄では生物の搬入搬出や新展示の情報を、ニュース欄では季節ごとのイベントや企画展の詳細、参加体験プログラムの募集等の情報を発信した。

また、SNSを活用して、生き物の搬入や新規展示、生き物の様子など展示生物に関する情報のほか、イベントの実施状況など、タイムリーな情報提供を毎日行った。

③ 機関誌の発行

水族館の活動内容をはじめ、生物や海に関する様々な情報を掲載した機関誌「AMF NEWS」を年2回発行した（発行部数 4,000部／回）。

④ プレスリリース

テレビ、雑誌等の取材協力を積極的に行うとともに、年間55件の投げ込みを実施した。テレビの取材放映が約100件、新聞の掲載は約310件あった。

## 9 施設管理事業

（1）工事関係

① 経年劣化により破損が著しい半地下防鳥ネットの修繕を行った。

② 経年劣化により誤作動が著しいエントランス上部の炎感知器の交換修繕を行った。

③ 親潮水槽の照明を無電極ライトから植物育成に適した太陽光に近い波長のLEDライトに変更した。

（2）省エネルギー・光熱費対策

電力の省力化に努めたが、酷暑の影響もあり令和4年度に対し電力使用量は

約 59,000kw (約 1%) 微増の約 5,980,000kw であった。

(3) その他

- ① 酸素欠乏・硫化水素危険作業に対応するため、新規採用職員に対し法令に基づき特別教育を実施した。
- ② 法令に基づき、消防設備士甲種四類免状、クレーン・デリック運転士免許、玉掛技能講習、フルハーネス型墜落制止用器具特別教育、仮払い機の特別教育受講を推進した。

(4) 主要維持管理施設

主要維持管理施設は、次のとおり。

① いわき市小名浜字辰巳町地内

ア ふくしま海洋科学館

|                        |                         |
|------------------------|-------------------------|
| ・本館等敷地面積               | 56,189.52m <sup>2</sup> |
| ・本館延床面積                | 12,935.11m <sup>2</sup> |
| ・水生生物保全センター延床面積        | 925.09m <sup>2</sup>    |
| ・子ども体験館「アクアマリンえっぐ」延床面積 | 1,266.70m <sup>2</sup>  |
| ・屋外トイレ面積               | 106.18m <sup>2</sup>    |
| ・温室面積                  | 52.54m <sup>2</sup>     |
| ・わくわく里山・縄文の里関連施設延床面積   | 1,509.56m <sup>2</sup>  |

イ 駐車場関係

|           |                         |
|-----------|-------------------------|
| ・施設外駐車场面積 | 12,093.81m <sup>2</sup> |
|-----------|-------------------------|

② いわき市小名浜下神白字松下地内

海水取水・送水施設

|                     |    |                      |
|---------------------|----|----------------------|
| ・取水ポンプ棟延床面積         | 1棟 | 84.43m <sup>2</sup>  |
| ・ろ過送水棟延床面積          | 1棟 | 180.04m <sup>2</sup> |
| ・取水管 (管径 350mm)     |    | 91.10m×2条            |
| ・揚水管 (管径 300/350mm) |    | 146.00m              |
| ・送水管 (管径 250mm)     |    | 2,885.04m            |

③ 和歌山県串本町

水生生物保全センター分館

|       |                      |
|-------|----------------------|
| ・延床面積 | 180.00m <sup>2</sup> |
|-------|----------------------|

(5) 来館者用駐車場の確保

繁忙期に臨時駐車場を確保し、安全かつスムーズな整理誘導を行った。

駐車場は次のとおりである。

① 常時使用駐車場

- ・オアシス駐車場 282台 (うち身障者用5台、バス15台)
- ・公共駐車場 452台 (うち身障者用17台)

② 臨時駐車場 977台 (小名浜港湾建設事務所から随時借用する)

\* 駐車場合計 1,711台

## 10 カワセミ水族館事業

猪苗代町緑の村管理センター、釣堀・養魚鑑賞池、淡水魚館の3施設の総称を「アクアマリンいなわしろカワセミ水族館」として、福島県内及び猪苗代湖の希少淡水生物の保全をテーマに統括的な施設運営を図り、参加体験型展示を通じて環境保全及び教育普及活動に関する事業を展開した。

また、現淡水魚館内に希少淡水生物繁殖保全水槽を設置し、福島県内の希少淡水魚、は虫類、両生類、鳥類、哺乳類等の保全活動と調査研究を行い、情報発信に努めた。

(1) 施設の概要

○猪苗代町大字長田字東中丸地内

アクアマリンいなわしろカワセミ水族館

猪苗代町緑の村管理センター 736.00m<sup>2</sup>

猪苗代町緑の村釣堀、養魚鑑賞池 10,000.00m<sup>2</sup>

猪苗代町淡水魚館 605.10m<sup>2</sup>

(2) 展示事業

- ① 福島県の淡水生物の展示
- ② 猪苗代情報パネル展示
- ③ カワセミ、カワガラス、キセキレイ展示
- ④ 希少淡水魚繁殖保全水槽
- ⑤ 県内に生息するゲンゴロウを始めとする水生昆虫の展示水槽
- ⑥ 福島県の両生類の展示水槽
- ⑦ ユーラシアカワウソの展示
- ⑧ カワネズミの展示
- ⑨ カヤネズミ他ネズミ類4種の展示
- ⑩ 国外・国内外来種の淡水水生生物の展示
- ⑪ 金魚約30品種の展示
- ⑫ 企画展「水族館用語辞展」、「じゅえき太郎現る ゆるふわ昆虫の森」、「THE ヘンシン 生き物なりきり大作戦」、「なまずまなまずみなまず」実施

(3) 体験プログラム

- ① 釣り体験の実施、館内観察オリエンテーリングの実施
- ② タッチング水槽
- ③ 塗り絵コーナー、オリジナルエコバック作り、起き上がり小法師絵付け体験他ワークショップコーナーの設置
- ④ 木育キッズコーナー「森のこばこ」

(4) 情報発信

各種展示及びホームページや Twitter 等の SNS を通じて、猪苗代湖の保全、希少淡水魚の繁殖・保全を来館者に対して情報発信した。

## Ⅱ 公益海洋文化学習振興事業

### 1 海洋文化推進事業

#### (1) シーラカンス調査事業

NHK との共同調査に向けて南アフリカ共和国関係機関との調整を行った。  
インドネシア共和国調査機関（BRIN）を招聘し、調査活動の再開に向けた打合せを行い、研究契約についての協議を重ねた。併せて国立科学博物館の特別展にインドネシアシーラカンスの貸出をおこない、インドネシアと日本の研究協力を進めた。

#### (2) 海洋環境保全事業

マスコットバルーンを使用した海洋プラスチックごみ啓発プログラムを実施し、4回の清掃活動、2回の学習活動を実施した。

### 2 スクール開催事業

海の生物に親しみ、自然の事象について興味、関心を高めることを目的に、各種スクールを開催した。

#### (1) スクールの開催

「飼育員と学ぼう」と題して飼育員が様々なテーマでレクチャーを行なう体験プログラムを、事前募集した参加者を対象として開催した。生き物の知識を深めたり、餌やりなどで生き物に接するプログラムのほか、川や海など野外でのプログラム、館内で宿泊を伴うプログラムを実施した。

・飼育員と学ぼう：17回 271名

#### (2) 缶詰づくり体験ほか

館内での体験プログラムは缶詰づくり体験、エサやり体験などを実施した

#### (3) 工作コーナー

自然や生き物にちなんだものをテーマとした工作体験を開催した。  
ヒオウギガイのキーホルダー、海の万華鏡、アザラシ・カエル絵付けなど

#### (4) 釣り体験

アクアマリンえっぐの釣り場において魚を釣って調理し、食べるという体験を提供し、子どもたちに命の教育の機会を提供した。

(参加者数 20, 467組)

### 3 ボランティア等活動事業

アクアマリンふくしまボランティアの会による自主的、積極的なボランティア活動を通して、来館者の学習活動を支援するとともに、多様な交流を促進し、本施設を自らの学習・実践の場として積極的に提供した。技術向上のために接遇研修や他館視察研修を実施した。

|                   |      |
|-------------------|------|
| 第1期～第24期ボランティア更新者 | 153名 |
| 第25期新規ボランティア登録者   | 15名  |
| 登録者数(令和6年3月31日現在) | 168名 |



#### 4 移動水族館事業

主催者要請に応じ、移動水族館専用車（通称：アクアラバン）を派遣し、各地域のイベントや県内外の文化施設のイベントに出展。

海の生物に親しむ機会を提供し、当館への興味、関心を高めてもらうこと（営業・PR活動・広報宣伝）と併せて、開催地の地域振興（地域交流）に貢献。

出展回数        22 回   （令和4年度対比   169.2%   9 回増）

見学者数   35,938 人   （令和4年度対比   188.2%   16,842 人増）

### Ⅲ 収益事業

#### 1 ミュージアムショップ運営

「アクアマリンショップ JOHMON」及び「ミュージアムショップ UMINOS」の2店舗で、アクアマリンふくしまオリジナルグッズなどの商品を販売した。

売上額 263,077,994円

(令和4年度実績243,608,726円 前年度比108.0%)

アクアマリンいなわしろカワセミ水族館のショップでは、飼育展示生物をモチーフにオリジナル商品をカワセミ館で開発販売し、収入確保に努めた。

売上額 9,662,190円

(令和4年度実績10,509,340円 前年度比91.2%)

#### 2 レストランの運営

##### (1) レストランアクアクロス

数が多く資源量の安定した魚介類を食べる運動「HAPPY OCEANS」に取り組み、オリジナルメニューの提供や、運動の趣旨及び各魚種の資源量等を記載したリーフレットの提供を行った。

売上額 65,351,410円

(令和4年度年度実績50,982,255円 前年度比128.2%)

##### (2) 露店 The Roten Café Breeze

南テラスにて軽食を提供した。

委託料収入 2,315,853円

(令和4年度実績1,934,801円、前年度比 119.7%)

##### (3) 寿司処 潮目の海 HAPPY OCEANS

資源の持続的な利用をテーマに大水槽前で寿司を提供した。

委託料収入 1,122,529円

(令和4年度実績838,870円 前年度比133.8%)

##### (4) キッチンカー

超繁忙期に北ウイングやお祭り広場などで軽食を提供した。

委託料収入 1,246,907円

(令和4年度実績318,695円 前年度比391.3%)

#### 3 イブニングイベント事業

財団が推進するハッピーオーシャンズの理念に基づき、会食等を通してその食材である魚介類等に関する認識を深め、魚食の啓発を行うとともに、会員相互の情報交換と親睦を図ることを目的として、新たに「肴を旨く食べる会」を開催した。(年3回開催 参加者数計73人)

## IV 事業報告の附属明細書

令和5年事業年度においては、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書に記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しておりません。